第9号

体協だより スポーツ高岡

第１回　高岡市民カローリング大会

７月１日㈰高岡市民体育館にて、第１回高岡市民カローリング大会を開催した。これまで、体育協会が普及活動に努めてきた成果として、市内の各校下・地区から出場した33チーム約100名の選手が、メジャー競技６イニング制の方式によるゲーム２試合の合計得点にて競った。

選手は11メートル先のポイントゾーンを目がけてジェットローラーを投球し、各チームの作戦通りの場所に止まった時には、「よし！」という大きな歓声が、また、思わぬ珍プレーには、チームを越えて大きな笑いが広がり、とても盛り上がった大会となった。

結果／優勝…中田Ｂ（41点）　２位…横田Ｂ（36点）　３位…山王Ａ（29点）

第７回　高岡市民体育大会　総合開会式

６月16日㈯、高岡市民体育館において標記開会式を行い、選手・役員、来賓ら約400人が参加し健闘を誓った。富山サンダーバーズ専属チアリーディングチーム「チアティーズ」の華やかな演技での幕開けに続き、参加35競技団体の入場行進を行い、大会長の髙橋高岡市長と市体育協会の塩谷会長が挨拶、荒木市議会議長が祝辞を述べた。選手を代表し、高岡第一高校テニス部の宮田悠久選手が宣誓した。

第７回目の本大会は、17・24日を中心に各競技に約1万人が出場し熱戦を繰り広げた。

宮田選手の選手宣誓

ロンドンオリンピック
バドミントン男子シングルス
佐々木翔選手、日本人初の５位入賞！

30歳で念願のオリンピック出場を果たした佐々木選手は、ロンドンの大舞台に立ち、理想の選手として心から尊敬する男子シングルス世界ランキング1位の林丹(中国)選手との運命の一戦は、大接戦となり、敗れはしたものの世界に「ササキ」の力を証明した。

３年前から強豪トナミ運輸に移籍、高岡に生活の拠点を移してからの国際大会で目覚ましい活躍を見せ、世界ランキングでは男子シングルス日本最高の６位まで上りつめる。ロンドンオリンピックで、実力を存分に発揮し世界最強の林丹選手から２ゲーム目を奪い取り、会場をどよめかせるなど、一歩も引かない戦いで肉薄し、見事５位入賞を果たした佐々木翔選手にインタビューに応えていただいた。

《オリンピックへの想い》

Q１：バドミントンを始められて、いつごろからオリンピックを意識されましたか？

A小学生の時から憧れの舞台ではありましたが、高校生の時に、本気で目指してみたいと思うようになりました。

Q２：オリンピックの出場権を獲得されたときの心境をお聞かせください。

A過去２回出場できなかった経験をふまえ、いろんな面から心・技・体の準備をしてきたので、その成果がでて嬉しかったです。

Q３：オリンピックまでの約３カ月間はどのようにして過ごされましたか？またそれまでとの心境の変化はありましたか？

A出場が早く決まっていたので、１年前から準備することができましたが、オリンピックに近づくにつれて１日１日が重くなってきました。最後の３カ月の練習では、オリンピックの本番を想定し、林丹(中国)選手からの球を返すというイメージで臨んでいました。

《試合について》

Q４：初出場のオリンピックの雰囲気や感想をお聞かせください。

A日本からたくさんの方が応援にきていましたし、メディアの取り上げ方や国民の期待も高く、思っていた以上に規模の大きな大会でした。

Q５：初戦のプレッシャーは、ご自身が思っていた以上に感じましたか？どんな気持ちで初戦に挑まれましたか？

A１試合１試合がいつもよりすごく重いものになってきているのを感じました。夢の舞台でもあり、初戦のあとは２日間試合がないので、コートに慣れるためにも少し疲労が残ってもいいからたくさん動けたらいいなという気持ちで入りました。

Q６：準々決勝の世界№１の林丹戦では、ファイナルゲームの13対14の場面で何を考えましたか？また、勝利まであと一歩でしたが勝つためには何が必要でしたか？

Aファイナルゲームの追いつく展開のときは、応援してもらってる方々の思いや祈りがエネルギーになって、力が沸きでてくるような初めての感覚の中でプレーしていました。最後の15点以降は２人の差が出たと思っています。これからは、そこの差を埋める準備をしていきたいと思っています。

《オリンピックを終えて》

Q７：オリンピックを終えましたが、試合に対する満足感や現在の心境をお聞かせください？

A今までずっと目標にしていた大会で、準備してきたものを出し切ることができて嬉しく思っています。負けはしましたが、充実感のほうが今はあります。

Q８：今後の目標をお聞かせください。

A今はまだ終わったばかりで気が抜けている状況ですが、10月以降開催の日本リーグと全日本総合選手権大会で頑張りたいと思います。

Q９：応援している家族、チームスタッフ、地元高岡の人達にメッセージをお願いします。

A試合中に自分の体にいろんな人の思いがのり移ったような感覚になって、自分一人の体ではないんだなというのを実感しました。応援してもらっている多くの方々に感謝しながら、またいい報告できるように頑張ります。

●佐々木　翔プロフィール
（ササキ　ショウ）

生年月日／昭和57年６月30日生(30歳)
出 身 地／北海道北斗市
現 住 所／富山県高岡市
勤 務 先／トナミ運輸株式会社(平成21(2009)年１月入社)
経　　歴／北斗市立上磯中学校
→関東第一高校→富士短期大学
→ＭＭＧアローズ→北都銀行→トナミ運輸
戦　　歴／全国中学生大会
個人　単　平成９年　２位
全国高校総体大会
団体　　平成11・12年優勝
個人　単　平成11・12年２位
個人　複　平成12年優勝
(パートナー佐藤翔治:現ＮＴＴ)
全日本学生大会
個人　単　平成13年２位
個人　複　平成13年２位
(パートナー佐藤翔治:現ＮＴＴ)
日本ランキング大会
個人　単　平成17･18･19･20･21年優勝(５連覇)
全日本社会人大会
個人　単　平成20･22年優勝
全日本総合大会
個人　単　平成19年優勝
オランダオープン
個人　単　平成22年優勝
オーストラリアオープン
個人　単　平成23年優勝
ＵＳオープン
個人　単　平成23年優勝
※平成17・18年、20年より全日本代表選手

世界王者を相手にした執念のプレーに観客席がざわめき、「佐々木コール」が会場全体に広がった。金星にあと一歩及ばなかったものの、名勝負にスタンドは総立ちとなり、惜しみない歓声と拍手に包まれたという。佐々木選手の「強烈なスマッシュ」と「不屈の精神力」が感動を与えてくれたに違いない。

「自分のプレーは表現できた。」と達成感をみなぎらせた佐々木翔選手に大きな拍手を送るとともに、全身全霊、全力で戦う姿に、これからも心から熱い声援を送り続けたい。

「第83回 都市対抗野球大会」出場！

伏木海陸運送㈱硬式野球部

たくさんの応援団のもとでのプレー

第83回都市対抗野球大会は、７月13日㈮から東京ドームにおいて開催され、高岡市代表の伏木海陸運送㈱硬式野球部が見事、北信越代表として、６年ぶり３回目の出場を果たし、大会４日目の16日（月・祝）の第２試合で、千葉市代表のＪＦＥ東日本と対戦した。

試合に先立つ始球式では髙橋市長が加賀藩主・前田家の梅鉢紋（家紋）が入った赤の法被に、利長くんのマーク付きの赤い帽子姿で登場し、投球はワンバウンドながらきっちりストライクゾーンで補手のミットに収まった。

試合は序盤、ＪＦＥに１点を先制されたが、中盤までは伏木海陸が安打数で上回るなど、塁を賑わす場面が多く、押し気味に進めたがあと一本が出なかった。無得点のまま終盤の７回には致命的な６失点を喫し、初勝利は持ち越しとなってしまったが、最後まで諦めない伏木海陸らしい野球が展開された。

既に、選手の皆さんは、次に向けた挑戦が始まっており、６月に亡くなられた、故：橘康太郎相談役が社長時代に「地元の球児たちが硬式野球を続けられる場を」と当野球部を創設された熱い意思を引き継ぎ、次代を担う球児に夢や希望を与えられるプレーを今後とも期待したい。

高岡市教育委員会体育保健課　石瀬　潔志

平成24年度全国高等学校総合体育大会バレーボール競技を終えて

標記大会バレーボール競技が、７月29日の男子開会式を皮切りに、８月７日の女子閉会式まで延べ10日間、高岡市竹平記念体育館と氷見市ふれあいスポーツセンターにおいて開催された。

富山県からは地元代表ということで、男女２チームずつが出場し、高岡市からは男子第１代表の高岡第一高校と女子第２代表の高岡商業高校が出場した。

高岡第一高校は２回戦で大阪代表の清風高校に２対０で勝利し、３回戦では広島代表の崇徳高校に接戦の末敗れはしたが、ベスト16と健闘した。

また、女子の高岡商業高校は予選グループ戦で勝利し、決勝トーナメント１回戦にも勝利し、波に乗った２回戦では第３シードの強豪、宮城県代表の古川学園高校に対し、相手のスパイクを粘り強く拾い、思いっきりのいい攻撃を繰り広げ、２対０で勝利した。この試合では高岡商業高校の大応援団とチームがひとつになり、大きな力を発揮し、観戦していた人たちに高校バレーの素晴らしさと感動を与えることができた。３回戦では東京都代表の強豪、共栄学園高校と対戦し奮闘したが、力及ばず敗退した。

今大会では男女ともベスト16入りという輝かしい成績を収めることができた。また、高岡第一高校の古舘昂也君と高岡商業高校の澤武みことさん、西川果穂さんが優秀選手として表彰された。

今回の結果を通して、高岡市体育協会と高岡市バレーボール協会がスクラムを組んで取り組んでいる、ジュニア選手育成強化事業の成果が実を結んだと思う。今後もジュニア育成が日本代表選手の発掘につながると信じ、強化に励みたい。

高岡市バレーボール協会　理事長　喜多　進

公益財団法人スタート

加盟団体及び連携団体をはじめ多くの皆様のご協力のもとに、取り組んでまいりました公益財団法人への移行作業は、平成24年４月１日の登記をもって完了し、公益財団法人としてスタートしました。

今後、新定款の目的に掲げる「スポーツ振興を通じて市民の心身の健全な発達に寄与すること」に資するため各種事業を展開してまいります。

４月２日に、新たな門出にあたり、当協会評議員の道前正光氏の揮毫による看板を掛けました。

右から道前評議員、塩谷会長他

平成24年度

定時評議員会

平成24年５月26日㈯、高岡商工ビルにおいて定時評議員会が開催された。評議員会では、第１号議案「平成23年度の計算書類等及び財産目録の承認について」、第２号議案「評議員会運営規則の承認について」、第３号議案「加盟団体会費規則の承認について」が審議され、いずれも決議された。また、第４号議案「役員改選に伴う理事及び監事の選任について」により、新たに28名の理事及び２名の監事を選任しました。

定時評議員会終了後、新たに選任された理事及び監事による理事会が開催され、会長、副会長、専務理事及び常務理事が下記のとおり選定された。

また同日、平成24年度高岡市体育協会表彰が行われ、表彰状と感謝状の授与が行われた。受賞者は下記のとおり。

●役員名簿

会　　長　塩谷　雄一
副 会 長　高森　　勇
副 会 長　井村　昭彦
副 会 長　山口　正志
常務理事　高倉　正和（競技団体・ソフトテニス連盟）
常務理事　高橋　源吾（競技団体・相撲連盟）
常務理事　萩原　隆夫（前専務理事）
理　　事　関　　密雄（高岡市体育保健課長）
理　　事　北村　利行（企業スポーツ・㈱タカギセイコー）
理　　事　吉見　浩二（高岡法科大学教授）
理　　事　関　　清嗣（競技団体・水泳協会）
理　　事　末坂　　進（競技団体・バドミントン協会）
理　　事　喜多　　進（競技団体・バレーボール協会）
理　　事　明道　将人（競技団体・バスケットボール協会）
理　　事　紺谷　文夫（競技団体・野球協会）
理　　事　谷内　浩仁（競技団体・サッカー協会）
理　　事　梶川　豊司（競技団体・レスリング協会）
理　　事　二谷　憲行（競技団体・スキー連盟）
理　　事　高野　真喜（競技団体・ビーチボール連盟）
理　　事　坂本　雅則（小学校長会体育行事委員会）
理　　事　金場　安史（中学校体育連盟）
理　　事　幸塚　孝行（高岡地区高等学校体育連盟）
理　　事　北村　昌利（地域スポーツ団体）
理　　事　中村　清志（スポーツ推進委員協議会）
理　　事　小山　道夫（元福岡町体育協会理事長）
監　　事　松崎　義彦（競技団体・バレーボール協会）
監　　事　榊原　仁麿（高岡市会計管理者）
副 会 長　山沼　茂敏
副 会 長　針山　健二
専務理事　澤合　文雄

●表彰状受賞者名簿

トナミ運輸㈱バドミントン部（高岡市バドミントン協会）
佐々木　翔（高岡市バドミントン協会）
平田　典靖（高岡市バドミントン協会）
橋本　博且（高岡市バドミントン協会）
古財　和輝（高岡市バドミントン協会）
黒瀬　尊敏（高岡市バドミントン協会）
銭谷　　翔（高岡市バドミントン協会）
園田　啓悟（高岡市バドミントン協会）
大野　幸雄（高岡市バドミントン協会）
桶沢　寛二（高岡市バドミントン協会）
今泉　静子（高岡市バドミントン協会）
谷村　優一（高岡市相撲連盟）
黒川宗一郎（高岡市相撲連盟）
八箇　章介（高岡市ライフル射撃協会）
山室ビーチボールクラブ（高岡市ビーチボール連盟）
太田はまなすビーチボールクラブ（高岡市ビーチボール連盟）
奥村　　隆（高岡市ビーチボール連盟）

●感謝状受賞者名簿

佐野　徹郎（前㈶高岡市体育協会副会長）
中山　正晃（高岡野球協会）
山口　健治（高岡市バレーボール協会）
太田　俊之（高岡市相撲連盟）
八幡　正昭（高岡市柔道連盟）
谷　　勝弘（高岡市セーリング協会）
井上　英二（高岡市フェンシング協会）

第32回高岡万葉マラソン　参加者募集！

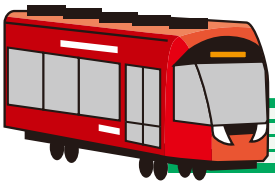
写真提供：株式会社フォトクリエイト

■と　き　11月18日㈰　午前８時30分　開会式
■ところ　城光寺陸上競技場スタート・ゴール

■種　目　20㎞、10㎞、５㎞、２㎞
（各種目とも年齢別、計21種別あります）
■対　象　小学生以上で健康な人
■参加料　・一　般　3,000円　・高校生　2,000円
・中学生　1,000円　・小学生　800円
■申込み　10月12日㈮まで、市内体育施設にある
大会要項に従ってお申し込みください。
体協ＨＰにも掲載いたします。
■参加賞　記念Ｔシャツ、おいしい豚汁、ドリンク

■同時にボランティアSTAFFも募集しています！

と　き：11月18日㈰ 午前７時～正午
ところ：城光寺陸上競技場内
内　容：選手受付やドリンク引換など
申込み：10月29日㈪まで、
（公財）高岡市体育協会へ
☆記念Ｔシャツをプレゼント☆



「まんようせん体操」しゅっぱつ！しんこう！

平成24年６月、高岡市体育協会とシンガーソングライター島かおりさんとが共同制作した「まんようせん体操」をお披露目しました。子供向けの体操ということで、保育士さんを対象に研修会をしたところ、早速、市内の各保育園から元気いっぱい体操している園児たちの様子が届きましたよ。

「瑞龍寺」「白えび」のポーズがお気に入り。みんなで電車ごっこも楽しいよ！

「まんよう！」の掛け声や、高岡にちなんだポーズがお気に入りで毎日元気に踊っています。
７月28日の納涼まつりにも踊りました！

TVを見ながら、
家族みんなで体操してね！

★平成24年9月より高岡ケーブルTVで放送★

【放送時間】9:25、17:25、21:25（各５分間）

地域スポーツ

石堤校下体育振興会

第７回　バスハイク

小布施散策と善光寺

７月15日㈰梅雨の一休みの暑い日に、約３時間バスに揺られて信州、小布施と善光寺に行ってきました。

小布施は、古い雰囲気を持つ街並みが美しく葛飾北斎ゆかりの地でもあります。栗も全国的に有名で栗ようかん、栗おこわがあちら、こちらの店舗に並んでいました。

小布施からバスで約30分揺られ、いよいよ善光寺参りへと向かいました。ガイドさんからの第一声で、運が良いのか悪いのか１年365日分の１日の確率で今日は「ながの祇園祭」で屋台（山車）が５台出ているとのこと。そのこともあってか大勢の人で溢れていました。運が良かったのか？！善光寺に手を合わせると御利益があるのでみなさんもお立ち寄りの際にはぜひ手を合わせて下さい。

「牛に引かれて善光寺参り」合掌

川原・西条・横田校下体育振興会

西部地区親善ナイターソフトボール大会

昭和59年に高岡西部中学校にナイター設備が設置されたのを機に、同校区の川原・西条・横田の三校下体育振興会が互いの交流とスポーツの発表を目的にナイターソフトボール大会を開催しており、今年で29回目を数えました。

昭和59年の第１回大会には36チームが参加、試合は土日を利用し毎回２試合を消化、しかし５月中頃から７月中頃までの梅雨時は、順調に試合も行えず、各体育振興会役員がお互いに参加チームに連絡調整しながら大会運営に努めてきました。

大会後の反省会は常に盛り上がり、協力しあった満足感と、今後の活躍と発展を誓い合い、結びは次回当番校下代表による万歳を繰り返してきました。

しかしながら、回を重ねるにつれ、ソフトボール人口の変化やスポーツの多様化で、参加チーム数が半減し、今年は15チームでした。来年は30周年、この記念となる大会を何とか盛り上げ、今後の大会運営の継続発展に希望を膨らませるよう企画に取り組んでいきます。

平成24年度　全国高等学校総合体育大会出場者

［高岡市居住者］

１．陸上競技
川田　千尋（高岡・3年）
熊木健太郎（高岡南・3年）
柴田　修史（龍谷富山・2年）

２．体　　操
下村　優依（富山商業・1年）
松田　奈々（伏木・3年）

３．新 体 操
土田　祐華（高岡商業・3年）
林　　真衣（高岡商業・2年）
中井　咲希（高岡商業・3年）
小島　星奈（高岡商業・2年）

４．バスケットボール
水野　阿礼（高岡第一・2年）
塚田　真矢（高岡第一・2年）
鶴瀬友理也（高岡第一・3年）
篠島　純花（高岡第一・1年）
岩崎伽朱美（高岡第一・2年）
春日　美咲（高岡第一・3年）
塚本　夕貴（高岡第一・3年）
吉村　　恋（高岡第一・1年）

５．卓　　球
明法寺　亮（高岡西・2年）
山田龍之介（高岡龍谷・3年）
今井　智晴（高岡龍谷・2年）
阿部　太郎（高岡龍谷・1年）
大野　瑞季（高岡西・2年）
大野　晶代（高岡西・2年）

６．ソフトテニス
榊　　勇人（高岡商業・3年）
上坂　拓也（高岡商業・2年）
伊藤　　幹（高岡商業・1年）
堀井　詞弥（高岡西・3年）
茂住　優乃（高岡西・1年）
山﨑　　和（高岡西・3年）
濱口　弓果（高岡西・1年）
茂住　真緒（高岡西・3年）
沖　亜津子（高岡西・2年）

７．ハンドボール
経塚　美月（高岡向陵・2年）
三浦みな美（高岡向陵・2年）

８．サッカー
前田　翔一（富山第一・3年）
川縁　大雅（富山第一・2年）

９．バドミントン
麻井　恒宏（高岡第一・3年）
宮　　佑輔（高岡第一・3年）
前田賢史朗（高岡第一・2年）

10．剣　　道
田代　祥平（高岡工芸・3年）
東　　裕樹（高岡工芸・3年）

11．レスリング
紺野　孝太（富山第一・3年）
六家　慎吾（高岡向陵・3年）
坂本　京太（高岡向陵・1年）
大坪　智也（高岡向陵・1年）
松澤　潤也（高岡向陵・3年）
小倉　強太（高岡向陵・1年）

12．弓　　道
前多　　瑠（高岡工芸・3年）
関原　あい（高岡・3年）

13．テ ニ ス
日下　大暉（富山国際・3年）

14．ヨ ッ ト
服部　笙太（新湊・3年）
麻畑　　翼（新湊・2年）
西野　峻輔（新湊・2年）
渡邊　佳幾（新湊・2年）
中山　拓也（新湊・2年）
下野　大地（新湊・2年）
釣谷　拓希（富山高専・3年）
岡田真生子（新湊・1年）

高岡市スポーツ少年団活動紹介

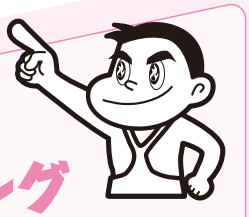
柔道

柔道部会は現在８団体、150名余りの児童が、４月から毎週月曜日に14回行っている塩谷建設「正気館」での高岡地区少年柔道教室への参加、毎週月曜日、水曜日に県営武道館での高岡柔道連盟主催の「健心会」への参加等、切磋琢磨しています。全員参加の試合では、４月春季錬成柔道大会、９月秋季錬成柔道大会、12月中旬の若獅子青少年柔道大会、１月、成人の日には塩谷建設主催「正気館柔道大会」があります。12月初旬には有名選手など招いた柔道教室の開催、１月４日は高岡武道館で行われる新春武道稽古始めに、年の初めとはいえ沢山の児童が参加しています。少子化の影響で最近は人数の減少はあるものの楽しく安全に柔道をしています。これも指導者同士の日頃のコミュニケーションをしっかり行っている賜物と思います。

これからも礼儀を指導しつつ、子供たちの成長を見守り活動していきます。

柔道部会　副理事長　柴田成人

レスリング



現在、高岡市には、２つのクラブチームがあり30数名の少数精鋭にて、幼年から中学生まで「礼に始まり礼に終わる」をモットーに日々練習に励んでいます。

しかし、せっかく幼年からスタートしたにもかかわらず、小学校２～３年生位で他競技に移って行く児童もおり、近年の少子化も影響して、人員の確保に頭を痛めているのが現状です。

何分格闘技でもあり、経験年数の有無が非常に関係する競技であるので、いかに練習を楽しく取り組んでいくかを考えるとともに、勝つ喜びも自ら知ってもらうため多少の厳しさも教えることを保護者や家族の方々にも御理解をもらっています。

準備運動の中でのマット運動は、レスリングの基本でもあり、それに取り組むことにより前転、後転、倒立前転、倒立後転他、体の柔軟性に役立っています。

練習は、週３～４日、１日２～３時間行っており、毎年オリンピックメダリストを迎えての合同合宿を行い、レベルアップを図っています。また県外合宿等にも積極的に参加し、選手強化にも力を入れながら他県チームとの交流、保護者同士の親睦も楽しめています。

各種大会にもできるだけ出場しており、昨年度は全国中学選手権大会２位１名、全国少年少女選手権大会では優勝者３名、２位２名、３位２名の入賞者を出しています。

今後もレスリングを通じて、人を思いやる心を持つ子ども達を育成して行きたいと思います。

レスリング部会　委員長　梶川豊司

本田　有咲（新湊・1年）

15. 自 転 車
岡田　徹也（氷見・3年）
筏井　克也（氷見・2年）
谷本　奨輝（氷見・3年）
吉田　柊也（氷見・1年）
大浦　　尭（氷見・2年）
山本　和輝（氷見・1年）

16. アーチェリー
木林日向子（高岡龍谷・3年）

17. 空 手 道
久々江　諒（高岡・2年）
小川　大貴（高岡工芸・3年）
渡辺佳那子（新川・3年）
小川　菜月（高岡第一・1年）

18. バレーボール
本田　雅明（南砺福野・2年）
清水　美紗（高岡商業・3年）
原田　美咲（高岡商業・3年）
北世　あゆ（高岡商業・2年）
山本　青空（高岡商業・3年）
市井　采和（高岡商業・1年）

19. 柔　　道
又場　郁哉（小杉・3年）
江添　圭貴（高岡第一・3年）
石黒　健太（高岡第一・3年）
向　翔一郎（高岡第一・2年）
樋川　　翔（高岡第一・3年）
高桑　哲也（高岡第一・2年）
藤川　麗菜（高岡第一・2年）
米田　知世（高岡第一・2年）
関岡　真琴（砺波・2年）
長内　香月（高岡龍谷・3年）
阿部　香澄（高岡龍谷・2年）
中川佳菜恵（高岡龍谷・1年）
小松　那奈（高岡龍谷・3年）
小松　史歩（高岡龍谷・1年）

20. フェンシング
米島　優夏（富山西・3年）
向井　愛美（富山西・2年）

21. ホッケー
澤合　莉果（石動・3年）

22. 水　　泳
荒田　恭兵（高岡第一・2年）
西道　　優（富山商業・3年）

平成24年度 全国中学校体育大会等出場者

1. 水　　泳
福山　暁音（牧野・3年）
徳成　美紗（南星・3年）
清水　麻椰（南星・3年）
松田　未悠（南星・2年）
山科　莉子（南星・2年）

2. 柔　　道
村上　敦哉（芳野・3年）
二谷　　樹（高岡西部・3年）
松井　絵名（高岡西部・2年）

3. 卓　　球
橘　　秀平（五位・3年）
寺嶋　和希（五位・3年）
前畑　彰吾（五位・3年）
松田　雄樹（五位・3年）
武部　　樹（五位・3年）
森　　達也（五位・3年）
細　　敦貴（五位・1年）

4. 弓　　道
高田　悠矢（伏木・3年）
鎧塚　仁志（伏木・3年）
川村　翔馬（伏木・2年）
高井　想未（伏木・3年）
上野　綾華（伏木・3年）
山崎　明峰（伏木・3年）
藤重　南帆（伏木・2年）

※平成24年8月　現在

スポーツ施設紹介　県営高岡武道館

県営高岡武道館は、前田利長公墓所のそば県道高岡・青井谷線に面し、隣接して芳野中学校や市営前田庭球場があります。

１階が柔道場、２階が剣道場、利用時間は、午前９時から午後９時まで、高岡市体育協会が指定管理者となって運営されております。

問合せ先
〒933-0017　高岡市関(前田町)72
TEL／FAX：0766-24-1438

武道に関心のある人、やってみたい人、当館に来て一緒に汗を流してみませんか。

武道は日本古来のもので、とっつきにくいと思われがちですが、柔道や空手道が苦手な人でも大丈夫、心身鍛練の場として気軽にご利用下さい。

現在、柔道、剣道、空手道、少林寺拳法、居合道、合気道、太極拳、ビームライフル教室が定期的に行われています。又、個人利用も出来ます。休館日は毎週火曜日です(火曜日が祝日の場合は翌日)。

県営高岡武道館　利用者の声!!

★居合道に興味を持ち、高岡武道館に通い始めて17年になります。最初は5～6人で細々と稽古をしていましたが、部員を募ったこともあり、現在は小学生から80歳代の高齢者まで30人を超える人が一緒になって和気あいあいの中で稽古しています。

今年度から「武道」が中学校体育で必修になりましたが、これは良い改革だと思っております。武道は一生を通じて私たちを支えてくれる人間修養の道といわれており、さらに武道を志す人が増え、この武道館を利用される方も多くなるものと確信しております。

武道館は、心身を錬磨する神聖なる道場であり、常に清潔で威厳を保った施設でなければなりません。当館は職員の皆さんのお蔭で、万全の管理運営に努められております。このことに感謝し、これからも気持ち良く利用させていただきたいと思います。

賛助会員入会及び寄附申込のお願い

これまでも多くの皆様より、賛助会費や寄附金を賜り、改めて深く感謝申し上げます。

公益財団法人は、税制上の特定公益増進法人となることから、本年４月より高岡市体育協会への寄附は所得税等の税制上の優遇措置を受けることができるようになりました。引き続き、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

今後は、租税公課措置法で定められる要件の「3,000円以上の寄附金を支出したものが平均して年100人以上いること」を満たし、寄附者の方々によりメリットがある、税額控除による優遇措置が受けられるよう組織づくりを目指してまいりたいと思います。

つきましては、新規の賛助会員及び寄附について、格別のご高配を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

訃報

高岡市体育協会元会長
橘　康太郎氏 逝去

高岡市体育協会第５代会長の橘　康太郎氏が心不全のため６月１日午後６時９分にご逝去されました。(享年78歳)

昭和62年に会長就任以来、本協会の財団法人化に大変尽力され、とりわけ組織・財政の強化、事業の積極的展開を図られるなど９年間にわたり協会の発展に数々の功績を残されました。その後名誉会長など大所高所からご指導いただきました。また、高岡野球協会会長なども務められました。ここに橘元会長のご冥福を心からお祈り申し上げます。

掲示板

心身共にリフレッシュ!!
高岡おはようサイクリング

４月から10月までの毎週日曜日、早朝６時30分出発。自転車好きな小学３年生以上の老若男女が集まり、ふる里高岡の再発見と、会員の健康ＵＰと親睦を図ることを目的としています。

自転車で走るからこそ見られる景色を楽しみ、季節ごとの旬のものを求めて四方八方出かけています。桜花見・新緑・名水・七夕・かかし祭りのほか、ソフトクリーム・手作り豆腐等の街角グルメランも人気です。また、８月下旬～10月にかけては、梨狩り・リンゴ狩りの体験ランも予定しています。

この事業は、いろんな年代の人が集まり同じ体験をする、いわばファミリーサイクリングです。今年で41年目を迎えています。ぜひ次世代に繋げていきたいと思います。

●問合せ先●
高岡サイクリング協会 宮林義之
0766－22－4104

編集後記　(公財)高岡市体育協会は本年４月１日をもって公益財団法人の移行認定を受けたところでございます。従来、体育関係者・学校及び後援諸団体等の皆様へ広報誌を配布させて頂いておりましたが、この機会に幅広く高岡市全町の班回覧も実施して頂くことになり、各校下のスポーツイベントから国体・オリンピックでの本市選手の活躍を掲載するなどスポーツ情報を発信して、市民の皆様が目を通したくなるような紙面になるよう努めていきたいと思います。

常務理事　高倉正和